



提案アリ

### 私たちの考える 地域包括ケアシステム

#### まち歩きで実態調査

超高齢少子化社会を迎えても、住み慣れた地域で暮らしていくためには、それまでに必要な機能をしっかりとつくり出すことが重要です。

そこで、八王子生活者ネットワークではコミュニティを小中学校区としてつくり、そこにおける地域資源の発見と有効活用のためのまち歩きを行いました。

今回調査した子安町周辺では、八王子駅南口近くの空き地の多くはコイン駐車場になっていました。少し離れると空き地や空き家、空き社宅などもありました。医療関係では、歯医者が多く、病院もありましたが内科・小児科の開業医はほとんどなく、高齢者福祉関係の施設も少ない状況でした。また、いずれ移転する予定の医療事務所の敷地は53ヘクタールもあり市民のために有効活用したいと思いまし

た。市の中心部に湧水の六本杉公園とつながる緑のネットワークをつくり、多目的のフラインガルテン\*のような他市にはない駅周辺のまちづくりも考えられます。



#### 支え合いの地域社会をつくらう

空き地、空き社宅、市営住宅など資源の活用は市や個人団体・企業が手を取り合って構想をつくるチャンスでもあります。厚労省がすすめる地域包括ケアシステムは、団塊の世代約800万人が75歳以上となる2025年に向け、必要なサービスがおおむね30分以内に提供される日常生活圏域（中学校区単位）で、住まい、医療介護予防生活支援が一体

的に提供されるシステムです。先進事例として、URの建替事業が進行中の柏市豊四季台団地を含む豊四季台地域の「長寿社会のまちづくり」があり、地域包括ケアシステムの具現化及び高齢者の生きがい就業の創成を一本柱とした事業展開を進めています。

八王子市は地域福祉計画で地域の支え合いのイメージ図を策定していますが、絵にかいたモチにならないよう、まち歩きから見えてきたことをまとめ、(仮称)地域支え合い総合センター機能も含め、豊四季台の例なども参考に、市民発で提案していきます。

\*フラインガルテン：ドラインを初めとするヨーロッパで盛んな市民農園の形態のひとつ



公園の井戸も活用したいね↓

#### はつらつ4コマ 作：なるみ ゆり



#### ほっとHOTコラム

地域で活動する市民団体・個人の活動や提案を紹介します。

#### ママの笑顔が輝く「スマイルママ」の活動

生活クラブ生協を通して知り合ったママたちが集まり、楽しみながら子育てがしたいそんな思いを持ちながら、市内で月1回のペースで和やかな会を催しています。楽しく子育てをするためには、まずは親がキラキラ輝いていないとね」と、これまで親子クッキングや収納講座、茶話会、おやこ体操、市議会傍聴、議場見学など企画してきました。

スマイルママのメンバー、参加者の子どもの年齢はさまざまですが、生活クラブの消費材という食のつながりが、いろいろな会話をはぐませ、食べものに限らない情報交



Smile Mama 木田彩

#### 気になるあれこれ

#### 金比羅山が危ない

八王子市は2006年から、金刀比羅神社を中心とする金比羅山を、条例に基づく斜面緑地保全区域に指定し、保全してきました。所有者の学校法人矢野学園には、年間600万円、6年間で計3600万円の補助金が支払われており、土地を売却する場合には、必ず市に話をするよう要請されていました。しかし、昨年2月、矢野学園は土地を三和土木(株)に1億1千万円で売却。そして、三和土木(株)は八王子市に対して斜面緑地指定解除を申請し、市が買い取るなら20億円で売却すると主張しています。さらに開発を名目に金刀比羅神社の立ち退きなどを求める裁判を起しました。

これに対し市民が協力して山を守るつと、緑地保全と自然保護の精神に立った公正な裁判を求める要請書の署名活動が始まり、八王子生活者ネットでも署名活動を行いました。

\*その後、八王子市は、業者と交渉し、金比羅斜面緑地保全区域を4億9千万円で買い上げ、市有地化することを決めました。これで、金比羅山の貴重な自然は守られることになりました。